

法政大学 通信教育部
(スクーリング)

「経済学入門B／経済学入門Ⅱ」
第11回講義ノート

担当教員：ブー・トゥン・カイ (Vu Tuan Khai)

本： p.237 ~

1. 外国との取引を測る
2. 外国為替市場と為替レート
3. 為替レートの決まり方ー金利平価
4. 開放経済における金融政策の効果

国際収支・為替レートとマクロ経済

9章（前半）

イントロダクション

- これまでの分析: 外国との貿易(輸出入)を捨象した **閉鎖経済** (対外取引のない経済) を仮定。
 - 国際貿易が日本経済に与える影響は年々増大。
 - 輸出入には、異なる通貨の交換比率である為替レートが大きな影響を与える。
- 本章の目的: **開放経済** (対外取引のある経済) を想定し、国際間の取引 (国際収支) や為替レートがマクロ経済に与える影響を学ぶ。

Keywords

輸出入、経常収支、外国為替市場、為替レート、金利平価

本： p.238 ~

外国との取引を測る

第1節

経常収支とは

- 自国が外国と行う財・サービスや生産要素、資産に関する受取や支払(収支)を示したものを**国際収支**という。
 - このような取引を対外取引という。
- **国際**収支は、経常収支、資本移転等収支、金融収支からなる。
- **経常収支**：海外との財・サービス、生産要素所得の取引に伴う収支を示す。
 - **貿易・サービス**収支：財・サービスの輸出一輸入
 - 日本の財・サービス輸出の例：トヨタの車の米国輸入業者への販売、日本郵船によるブラジル企業の貨物の国際輸送、など。
 - 日本の財・サービス輸入の例：サウジアラビアからの石油の購入、日本人のタイへの旅行、など。

経常収支とは（続き）

- **経常収支（続き）**：

- **所得収支**：海外との生産要素所得のやり取り。但し、ここでいう生産要素とは資本や労働である。所得収支は次の2つから構成される。
 - **第1次所得収支**：外国との間で行われる、利子・配当や賃金などの所得に関する収支。
 - 例：ホンダ自動車が中国の子会社から受け取る配当、NTTデータがインド人IT技術者へ支払う給与所得、など。
 - **第2次所得収支**：外国との間で行われる、対価を伴わない所得に関する収支。
 - 例：贈与や寄付、国際機関への分担金、親族等への海外送金、など。

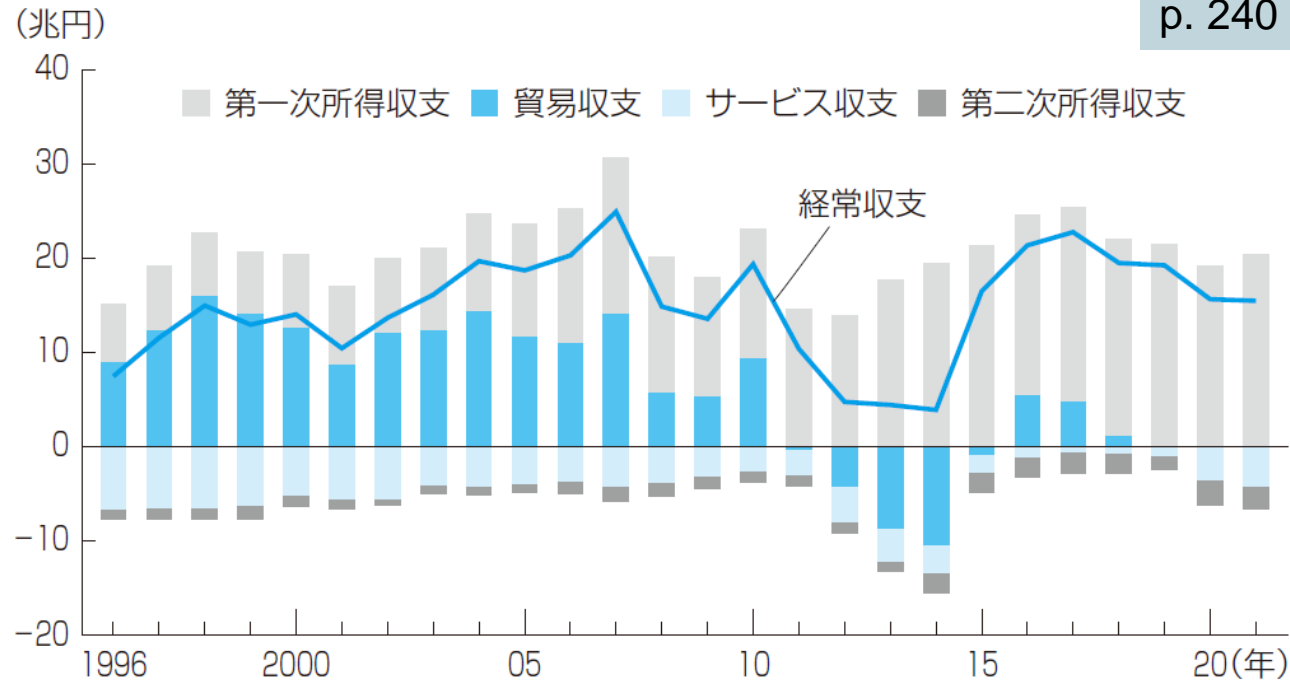
$$\text{経常収支} = \text{貿易・サービス収支} + \text{所得収支}$$

日本の経常収支の推移

CHART

図 9.1 経常収支とその内訳の推移

p. 240



(出所) 財務省「国際収支統計」。

近年、第1次所得収支が増加傾向。一方、貿易収支は2011年以降マイナスに転じたり、規模が縮小している。日本の「海外での稼ぎ口」が貿易から対外資産にシフトしていることを意味する。

資本移転等収支・金融収支とは

- **資本移転等収支**：対価を伴わない固定資産の提供や、国際的な債務免除など。
- **金融収支**：海外との資産の取引の収支。
 - **直接投資**：ある国の居住者が外国の企業に対して支配や経営参加を目的とする投資。
 - **証券投資**：ある国の居住者による外国の株式の購入などのことで、支配や経営参加を目的としない投資。
 - **その他投資**：現金・預金の取引など。資金決済はここに計上。
 - 他に金融派生商品、外貨準備も含まれる。

**金融収支 = 自国の居住者による外国資産取得額
－外国の居住者による自国資産取得額**

経常収支・資本移転等収支・金融収支の関係

- 3つの収支の間に成立する関係式：

$$\text{経常収支} + \text{資本移転等収支} = \text{金融収支}$$

||

$$\text{貿易・サービス収支} + \text{所得収支}$$

- 所得収支 = 資本移転等収支 = 0と仮定する。
 - 上式は貿易・サービス収支 = 金融収支と簡略化できる。
 - 貿易・サービス収支の増え方と金融収支の増え方が同じであることを以下例を用いて説明する。

貿易・サービス収支と金融収支の一致

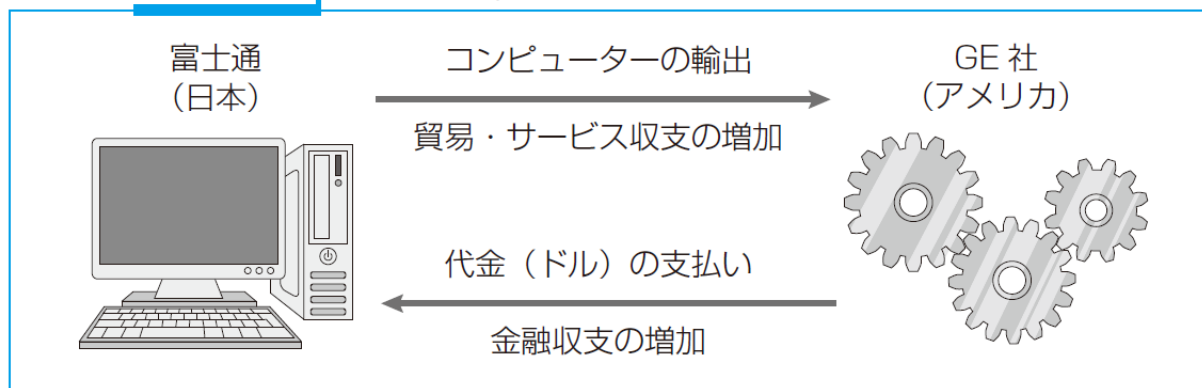
日本企業が外国企業に財を輸出する場合

- 例：富士通がGE社にコンピューターを輸出。
- GEが富士通に購入代金をドルで支払うとする。
 - 貿易・サービス収支が代金分増える。
 - 金融収支の中の「その他投資」が代金分増える。
- 貿易・サービス収支の増加 = 金融収支の増加。

CHART

図 9.2 海外との取引例——財の輸出

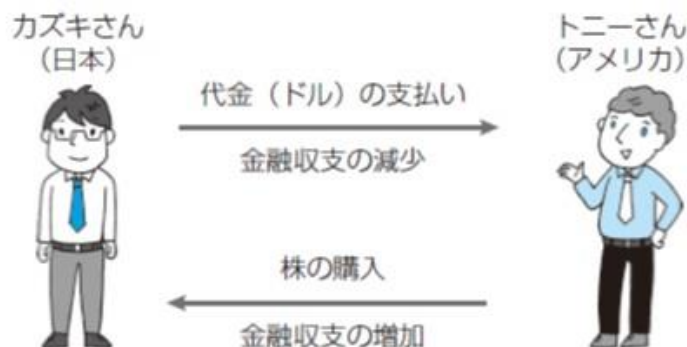
p. 243



貿易・サービス収支と金融収支の一致

日本の居住者が外国の金融資産を購入する場合

- 日本の居住者が^(金融資産である)米国株を外国の居住者から買う場合。
- 株の購入代金をドル(預金)で支払うとする。
 - 日本の居住者による外国資産(株)の購入額が増える。
 - 日本の居住者の持つ外国資産(預金)の額が同額減る。
- この場合も **金融収支の増加=貿易・サービス収支の増加(=0)**



海外との取引と貯蓄投資バランス

- 支出面でみたGDP(純輸出=貿易・サービス収支)

$$\underbrace{Y}_{\text{GDP}} = \underbrace{C}_{\text{消費}} + \underbrace{I}_{\text{投資}} + \underbrace{G}_{\text{政府支出}} + \underbrace{NX}_{\text{純輸出}}$$

- 両辺から $C + G$ を引くなど式を変形していくと、

$$\underbrace{Y - C - G}_{\text{貯蓄}_S} = I + NX \Rightarrow \underbrace{S - I}_{\text{貯蓄投資差額}} = \underbrace{NX}_{\text{純輸出}}$$

- **貯蓄投資差額**：貯蓄が投資を上回り海外の資産購入に充てられる部分。金融収支に対応。上の最後の式は、金融収支 = 純輸出(貿易・サービス収支)を示す。

- 貿易黒字の国は、貯蓄 > 投資で、対外純資産↑

- ※対外純資産 = 対外資産 - 対外負債

国際収支のまとめ

POINT 9.1 国際収支統計

- **経常収支** = 貿易・サービス収支(純輸出) + 所得収支
- **金融収支** = 直接投資 + 証券投資 + 金融派生商品 + 外貨準備 + その他投資
- **資本移転等収支** = 国際的な債務の免除など
- **経常収支** + **資本移転等収支** = **金融収支**

国際収支の状況

CHART

表 9.1 2021 年の国際収支状況

項 目		金額（億円）	項 目		金額（億円）
経常収支	貿易・サービス収支	－25,615	金融収支	直接投資	134,043
	第一次所得収支	204,781		証券投資	－220,234
	第二次所得収支	－24,289		金融派生商品	24,141
資本移転等収支		－4,197		その他投資	100,677
誤差脱漏		－43,153		外貨準備	68,899
合 計		107,527	合 計		107,527

（出所） 財務省「国際収支統計」。

p. 245

本： p.245 ~

外国為替市場と為替レート

第2節

為替レートとは

- **為替レート**：ある国の通貨と別の国の通貨とを交換する際の比率。
- 為替レートは海外との取引に大きく影響。

CHART

表 9.2 為替レートの表示例

p. 246

通貨	外貨販売（円→外貨）	外貨買取（外貨→円）
US ドル（1 ドル）	134.48 円	130.48 円
ユーロ（1 ユーロ）	140.42 円	131.92 円
イギリスポンド（1 ポンド）	171.91 円	151.91 円
タイバーツ（100 バーツ）	417.60 円	337.60 円
韓国ウォン（100 ウォン）	11.64 円	8.84 円
中国人民元（1 元）	21.79 円	17.79 円

（出所） チケット大黒屋ホームページ。秋葉原店・2022 年 8 月 14 日 11 時時点・一部抜粋。

（より体系的なデータについては日本銀行やIMFのHPより入手可能。）

外国為替市場

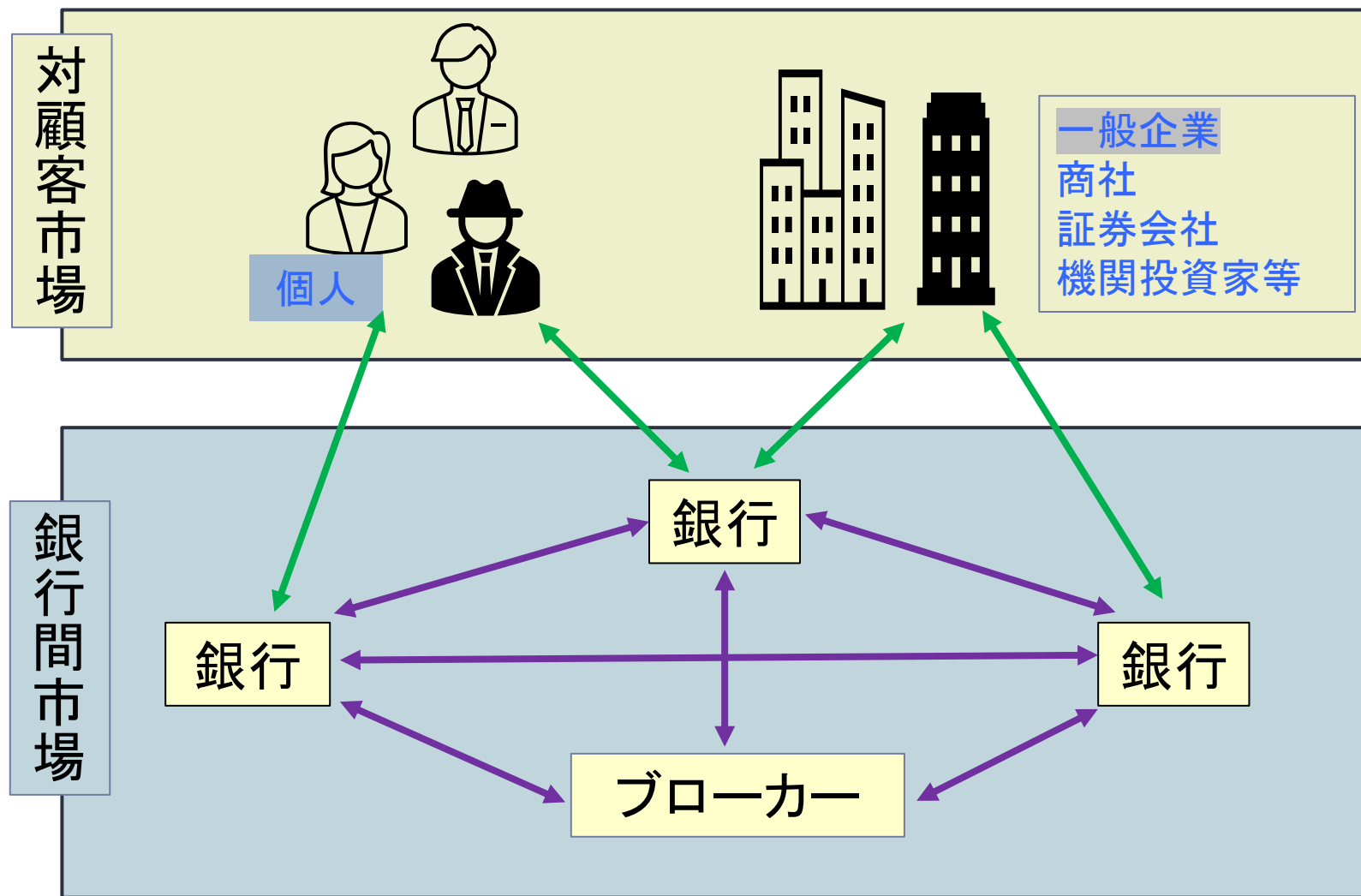
- **外国為替市場**：様々な国の通貨を売買する市場。
 - 世界的に有名な外国為替市場は、ロンドン市場、ニューヨーク市場、東京市場、香港市場など。また、最も取引量の多い通貨は米ドル、ユーロ、円など。
- **外国為替市場は銀行間市場と対顧客市場の2つに分類される。**
 - **銀行間市場**は、中央銀行、民間銀行、大手証券会社、為替ブローカー、電子ブローキング会社などの金融機関同士が取引を行っている市場。
 - この市場は必ずしも物理的な取引所ではなく、一定の資格を有している参加者が電話やコンピューター端末を介して取引を行う。狭義の外国為替市場と言える。
 - 銀行間市場では取引金額が大きいことが特徴の一つ。

外国為替市場（続き）

- 2種類の外国為替市場（続き）：

- **対顧客市場**は、銀行と顧客の間で外国為替取引をする市場。
 - ここでいう「顧客」とは、国際貿易や国際投資の事業をもつ一般企業や保険会社、中小規模の銀行、証券会社、為替取引会社、あるいは海外旅行や海外送金などを行う個人などのことを指す。
 - 銀行や為替売買業者は、銀行間市場で決定される為替レート（これを仲値[ナカネ]という）に基づき、国際取引で外貨を売買する必要がある顧客に対して手数料を上乗せした上で外貨小売サービスを提供する。
- このように、銀行間市場は卸売市場で、対顧客市場は小売市場と位置付けすることができる。

外国為替市場の概念図



表： 銀行の外国 為替相場一覧表 (三菱UFJ銀行の事例)

出所： 三菱UFJ銀行HP
https://www.bk.mufg.jp/ippan/gaitame/index.html?link_id=p_top_so_nota_gaitame
 のデータを基に教員作成。

用語	意味
T.T.S.	電信売り相場(仕向送金や外貨預金受入時などに使用)
ACC.	信用状付一覧払い輸入手形決済相場
CASH S.	現金売り相場 (顧客の買い相場)
T.T.B.	電信買い相場(被仕向送金や外貨預金出金時などに使用)
A/S	信用状付一覧払い輸出手形買い相場
D/P	信用状なし輸出支払条件渡し(LCなし輸出手形買い相場)
D/A	信用状なし輸出引受条件渡し(LCなし輸出手形買い相場)
CASH B.	現金買い相場 (顧客の売り相場)

注： より詳細については
https://www.toishi.info/boueki/payment_conditions.html#fourthを参照。

外国為替相場一覧表（SPOT RATE）							
				最終更新日時：2023/06/05 10:26			
通貨名	T.T.S.	ACC.	CASH S.	T.T.B.	A/S	D/P・D/A	CASH B.
USD (米ドル)	141.18	141.61	142.98	139.18	138.75	138.45	137.18
GBP (イギリスポンド)	178.24	178.79	186.24	170.24	169.69	168.99	162.24
CAD (カナダドル)	105.97	106.27	112.97	102.77	102.47	102.19	95.77
CHF (スイスフラン)	154.91	155.21	158.91	153.11	152.81	152.75	149.11
SEK (スウェーデン・クローナ)	13.35	13.39	15.35	12.55	12.51	12.45	10.55
EUR (ユーロ)	151.39	151.79	153.89	148.39	147.99	147.74	145.89
DKK (デンマーク・クローネ)	20.43	20.49	22.43	19.83	19.77	19.73	17.83
IDR (インドネシア・ルピア) (*)	1.06	----	----	----	----	----	----
NOK (ノルウェー・クローネ)	13.02	13.06	15.02	12.42	12.38	12.34	10.42
PKR (パキスタン・ルピー)	0.65	----	----	----	----	----	----
PHP (フィリピン・ペソ)	2.67	----	----	----	----	----	----
QAR (カタール・リヤル)	39.18	----	----	37.82	----	----	----
THB (タイ・バーツ)	4.1	4.11	4.49	3.94	3.93	3.9	3.55
AED (U A E・ディルハム)	38.91	39.05	----	37.55	37.41	37.35	----
AUD (オーストラリアドル)	94.46	94.71	102.16	90.46	90.21	89.81	82.76
HKD (香港ドル)	18.31	18.37	20.31	17.45	17.39	17.29	15.45
INR (インド・ルピー)	1.86	----	----	----	----	----	----
SAR (サウジアラビア・リヤル)	38.23	38.37	----	36.63	36.49	36.37	----
CNY (中国元) (*)	20	----	----	19.4	----	----	----
KWD (クウェート・ディナール)	464.61	----	----	448.61	----	----	----
KRW (韓国ウォン) (*)	10.91	----	12.21	10.51	----	----	9.21
SGD (シンガポール・ドル)	104.55	104.84	109.55	102.89	102.6	102.45	97.89
NZD (ニュージーランド・ドル)	86.86	87.14	93.56	82.86	82.58	82.22	76.16
ZAR (南アフリカ・ランド)	8.67	----	----	5.67	----	----	----
CZK (チェコ・コルナ)	6.47	----	----	6.23	----	----	----
MXN (メキシコ・ペソ)	8.98	----	----	6.98	----	----	----
TRY (トルコ・リラ)	9.15	----	----	4.15	----	----	----
RUB (ロシア・ルーブル)	1.99	----	----	1.49	----	----	----
HUF (ハンガリー・フォリント)	0.43	----	----	0.39	----	----	----
PLN (ポーランド・ズロチ)	34.59	----	----	32.19	----	----	--

----は、未確定を表します。 ****は、お取り扱いしておりません。
 IDR(インドネシアルピア) 、KRW (韓国ウォン) は100通貨単位あたりの相場です。

為替制度と為替介入

- **為替制度**：大きく分けると次の2種類がある。
 - **変動相場制**：外国為替市場における通貨の需要と供給に応じて為替レートが変動する制度。
 - **固定相場制**：為替レートを政府および中央銀行の通貨当局が公定するレートに固定する制度。
- **為替介入**：通貨当局が為替レートに影響を与えるために外国為替市場で通貨を売買すること。
- **為替介入の主な目的**
 - 変動相場制：為替レートの過度の変動の抑制
 - 固定相場制：公定為替レートの維持

為替レートの表記法

- **自国通貨建て**為替レート(円建て):外国通貨1単位に自国通貨何単位分の価値があるかを示す。
- **外国通貨建て**為替レート(ドル建て):自国通貨1単位に外国通貨何単位分の価値があるかを示す。

CHART

表 9.3 円建てとドル建て為替レート

	円建て為替レート	ドル建て為替レート
1 ドル = 90 円のとき	90 (円/ドル)	約 0.011 (ドル/円)
1 ドル = 100 円のとき	100 (円/ドル)	0.010 (ドル/円)
1 ドル = 110 円のとき	110 (円/ドル)	約 0.009 (ドル/円)

円建てレート
の**逆数**

p. 250

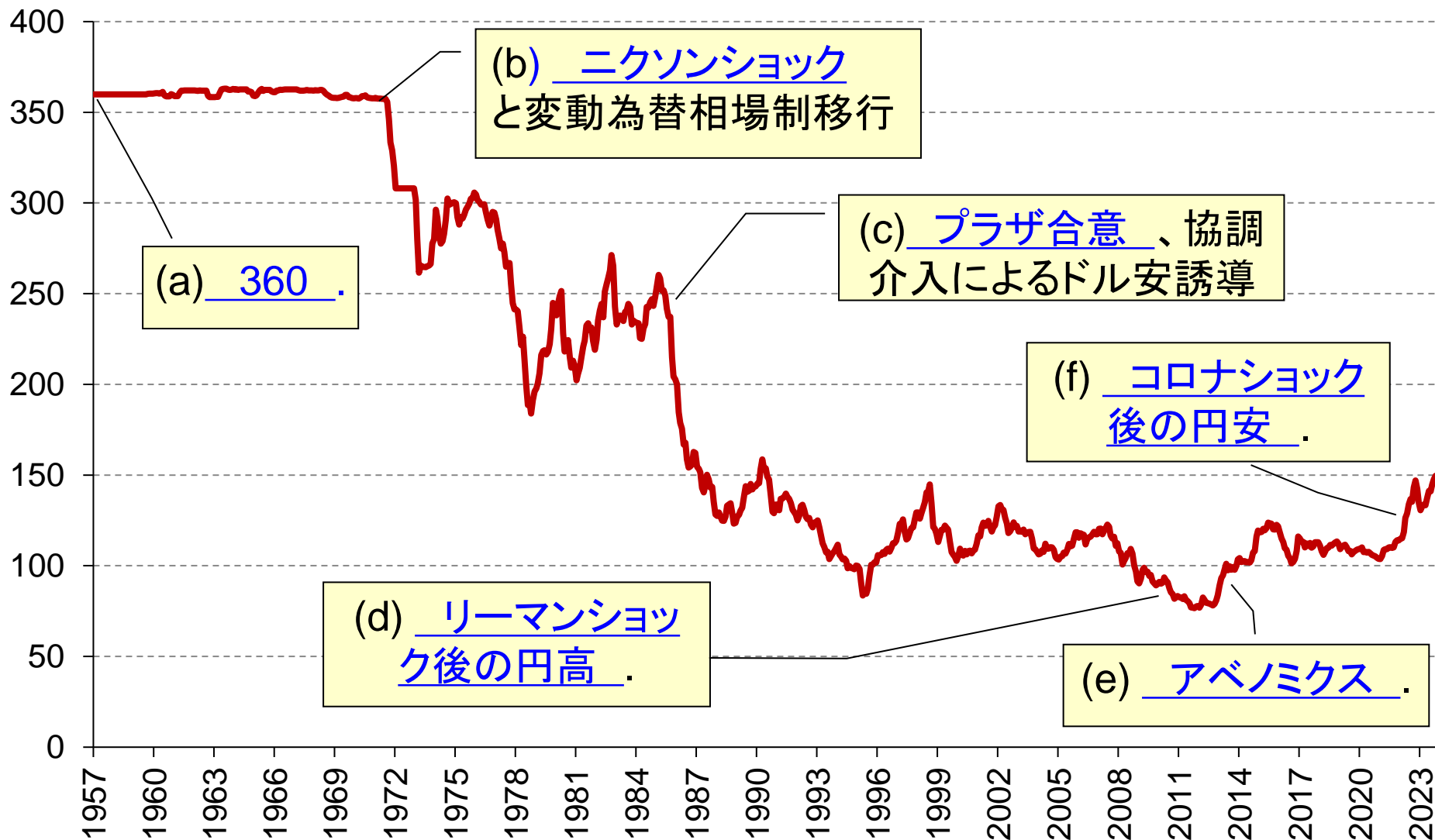
- X (円/ドル) : 1 ドルの価値が X 円であることを示す。
- 以後は主に自国通貨建てで議論

為替レートの変化と通貨の増価・減価

- 自国通貨の**増価**(自国通貨高とも)
 - (自国通貨建て)為替レートの値が減ること。
 - 外国通貨 1 単位の購入に必要な自国通貨の量が減る。
- 自国通貨の**減価**(自国通貨安とも)
 - (自国通貨建て)為替レートの値が増えること。
 - 外国通貨 1 単位の購入に必要な自国通貨の量が増える。
- 以後は主に日本を自国、米国を外国とする。
 - 1ドル=～円という為替レートが増える場合 (1ドル=100円→150円のように) は**円安・ドル高**。
 - 同為替レートが減る場合 (1ドル=100円→80円のように) は**円高・ドル安**。

図： 円ドル為替レート推移

1ドル＝～円



(出所) OECD.Statのデータを基に教員作成.